

令和 7 年度
鳥 獣 保 護 区 生 息 状 況 調 査 委 託
報 告 書（抜粋）

令和 8 年 3 月

東京都環境局自然環境部計画課

株式会社 セルコ

1. 調査概要

(1) 調査対象

調査対象は鳥類及び哺乳類とした。

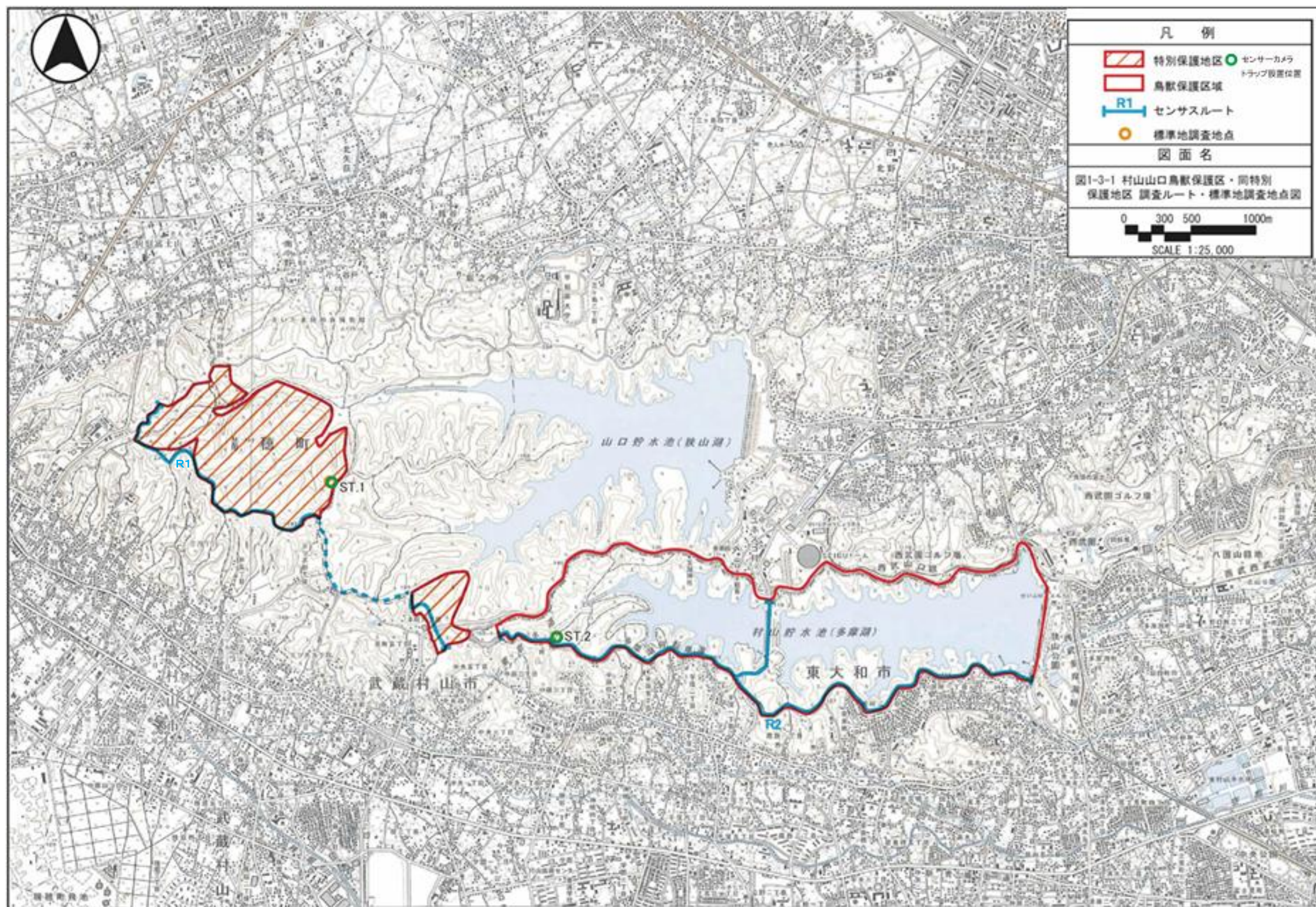
(2) 調査ルート及び地点等の設定

鳥獣保護区の鳥獣相を把握するため、調査対象鳥獣保護区において、都と協議のうえで表 1-3-1 に示す調査ルートを設定した。調査ルートの設定に際しては、地形の状況や周辺の土地利用、優占する植生の分布等を考慮し、生息する鳥獣の確認に支障を及ぼさない環境において、安全に現地調査が実施可能となるよう留意した。

なお、本調査では各調査ルートにおいて標準地調査地点を設け調査環境が多様になるよう配慮した。また、けもの道等においてセンサーカメラによる自動撮影調査を実施するとともに、夜行性鳥類を対象とした夜間調査とネズミ類を対象とした捕獲調査を実施した。各調査ルートの概要を表 1-3-1 に、各調査のルート及び設置地点などを図 1-3-1～図 1-3-9 に示す。

表 1-3-1 調査ルート一覧

調査対象 区域	ルート名
村山山口鳥獣保護区 特別保護地区	西多摩郡瑞穂町西部から村山山口鳥獣保護区同特別保護地区の外縁部に沿って野山北六道山公園の分岐点までの区間並びに武蔵村山市本町六丁目地先を通過するルート。 標準地調査は、コナラ群落を対象とする。
村山山口 鳥獣保護区	武蔵村山市中藤2丁目地先から村山貯水池南側を中心に、多摩湖自転車道に沿って狭山公園に至るルート。 標準地調査は、コナラ群落を対象とする。
多摩川 鳥獣保護区	多摩川中流域から多摩川左岸に沿って河口部に至るルート。 標準地調査は、ヨシ群落、セイバンモロコシ群落、オギ群落、コナラ群落、アラカシ群落を対象とする。
東京港 鳥獣保護区	東京港の港湾区域で、葛西臨海公園、若洲海浜公園、辰巳の森海浜公園、お台場海浜公園、大井ふ頭中央海浜公園、東京港野鳥公園の各公園内に設置したルート。 標準地調査は、海浜植生、植栽樹林群、シオクグ群落を対象とする。



(3) 現地調査

現地調査は、夏季及び冬季に実施した。

調査日の設定にあたっては鳥獣相を的確に確認できるよう留意し、雨天・荒天を除く日の適切な時間帯(原則として早朝)に実施した。現地調査の実施に際しては調査地管理者に事前に必要な連絡調整を行った。

現地調査は当該調査に精通した複数の調査員により実施した。調査員は「日本鳥類目録改訂第8版(2024年9月13日, 日本鳥学会発行)」並びに「日本野生鳥獣目録」(平成14年7月環境省)記載の鳥類及び哺乳類をフィールドサインにより判別できる者とした。調査の実施状況は表1-3-2に示すとおりである。

表 1-3-2(1) 現地調査実施状況(村山山口鳥獣保護区 同特別保護地区)

調査対象地域	季節	調査年月日	調査地点 ・ルート	調査内容	調査時間	天候
村山山口 鳥獣保護区 同特別保護地区	夏季	R7.9.16	R1	哺乳類調査(任意観察) 鳥類調査(ラインセンサス)	5:45~9:20	曇
	冬季	R8.1.15	R1	哺乳類調査(任意観察) 鳥類調査(ラインセンサス)	5:45~9:21	曇
	夏季	R7.7.15	R1	鳥類調査(夜間調査)	19:00~21:45	曇
	夏季	R7.10.20~21	St.1	哺乳類調査(センサーカメラによる自動撮影) 哺乳類調査(ネズミ類捕獲調査)	13:30~12:40	曇
	夏季	R7.11.4	St.1	植生調査	13:30~14:30	晴
村山山口 鳥獣保護区	夏季	R7.10.3	R2	哺乳類調査(任意観察) 鳥類調査(ラインセンサス)	8:00~12:30	晴
	冬季	R7.12.25	R2	哺乳類調査(任意観察) 鳥類調査(ラインセンサス)	8:00~13:20	曇
	夏季	R7.7.11	R2	鳥類調査(夜間調査)	19:00~21:00	曇
	夏季	R7.10.20~21	St.2	哺乳類調査(センサーカメラによる自動撮影) 哺乳類調査(ネズミ類捕獲調査)	11:40~11:30	曇
	夏季	R7.11.4	St.2	植生調査	10:30~11:30	晴

1) 調査方法

a) 鳥類調査

鳥類調査は、ラインセンサス法並びに夜行性鳥類繁殖期の鳴き声の確認を目的とした夜間調査を実施した。その調査方法を表 1-3-3 に示す。

なお、調査ルート外であっても当該区域内に出現した鳥類についても記録するよう努めた。

表 1-3-3 鳥類調査

調査内容	調査方法	
ラインセンサス法	調査範囲内の地形の状況や優占する植生の分布等を考慮し、あらかじめ設定した調査ルート上を歩行速度 1.5km/h～2km/h 程度で歩きながら、一定の範囲内に出現する鳥類を姿や鳴き声により識別して、種別や確認状況を記録した。	 ラインセンサス法
夜間調査	夜間調査は、日没後 2 時間程度、ヨタカ、トラツグミ、フクロウ等が鳴く時期を目安とし、7 月～10 月に実施した。	 夜間調査

b) 哺乳類調査

哺乳類調査は、任意観察、センサーカメラによる自動撮影及びネズミ類捕獲調査とし、その調査方法を表 1-3-4 に示す。なお、調査ルート外であっても当該区域内に出現した哺乳類についても記録するよう努めた。

表 1-3-4 哺乳類調査

調査内容	調査方法	
任意観察	あらかじめ設定した調査ルートを踏査して、個体の目視確認及び主に大型・中型哺乳類のフィールドサイン（糞、足跡、食痕、掘り返し、爪痕及び塚等の生息痕跡）を確認した。痕跡を確認したら位置、種の推定等や写真撮影を行い記録した。	 任意観察
センサーカメラによる自動撮影	センサーカメラは、けものみちと想定される箇所付近の樹木等に設置した。10 箇所に一晩設置した。	 センサーカメラ
ネズミ類捕獲調査	シャーマントラップおよびピットフォールトラップを使用してネズミ類を捕獲した。トラップの設置は全体で 14 箇所とし、1 箇所あたり各トラップを 10 台ずつ設置、設置は一晩とした。誘引餌は落花生を用いた。採取したネズミ類は同定を行い、種名等を確認した後、放獣することとした。	 シャーマントラップ  ピットフォールトラップ

(4) 文献調査

調査対象区域について、自然環境調査の報告書、継続的に野鳥調査を行う自然観察グループ等の各種団体の観察記録、その他の文献資料を収集し、当該区域に生息する鳥獣相をとりまとめることとした。

文献調査での文献収集先（ヒアリング先）と参考文献（ヒアリング記録）等を表 1-4-5 に示す。

表 1-4-5 (1) 調査（ヒアリング）結果

調査対象地域	ヒアリング先	ヒアリング記録
村山山口 鳥獣保護区 同特別保護地区	東大和市立郷土博物館 坂本卓也氏 令和 8 年 1 月 31 日 15 時 10 分～15 時 30 分	○近年の出現状況 ・周辺市街地含めてオオタカ、ツミ、ミサゴを見ることが多くなった。 ・カンムリカイツブリ、カモ類等水鳥が多摩湖では減っている感じがある。 ・キビタキ、ウグイスは、狭山丘陵では繁殖期にも声を聞くので繁殖している可能性がある。 ・鳥類外来種では、ガビチョウが増えているが生態系への影響は不明である。ソウシチョウは見なくなった。 ・シカ、イノシシ、サルの離れ個体が稀に狭山丘陵に出現する。 ・哺乳類外来種では、アライグマ、ハクビシンが増えているが顕著な獣害の発生は聞かない。キタリス、タイワンリスは狭山丘陵都側ではない。 ○その他 ・鳥獣保護区は更新してほしい。 ・当鳥獣保護区は基本的に一般人は立ち入れない水道局管理地なので、現状の管理で問題ないと思う。

(5) 現地調査とりまとめ

調査対象地域について、鳥獣調査の成果としてとりまとめ、以下第 2 章から第 4 章に調査結果と考察として示した。

各鳥獣の番号、目名、科名及び種名については、「日本鳥類目録（改定第 8 版）」（2024 年 9 月 13 日、日本鳥学会）及び「世界哺乳類標準和名リスト 2021 年度版」（川田 他，2021）を参考にした。表中の選定基準に該当するものについては、該当するものの略称・記号を記載した。

第2章 調査結果と考察（村山山口鳥獣保護区及び同特別保護地区）

1. 標準地調査

標準地調査地点の植生群落一覧を表 2-1-1 に、標準地調査の結果を表 2-1-2～表 2-1-3 に示す。

表 2-1-1 標準地調査地点の植生群落一覧

調査対象地区	調査地点	調査年月日	群落名
村山山口鳥獣保護区 特別保護地区	St. 1	令和 7 年 11 月 4 日	コナラ群落
村山山口鳥獣保護区	St. 2	令和 7 年 11 月 4 日	コナラ群落

表 2-1-2 標準地植生調査 (村山山口鳥獣保護区 特別保護地区 St.1)

群落組成調查票

No.	村山山口 St1	
調査地：	村山山口鳥獣保護区特別保護地区	調査年月日：2025年11月4日
地形：	尾根	日当：中陰 風当：中
土壌：	黒ボク土	土性：シルト質壤土 土湿：適潤
方位：	S71W	傾斜：11° 面積：10 m × 10 m
標高：	180m	天候：晴れ 種類数：39
群落名：	コナラ群落	緯度：N 35° 45' 46.30"
鳥獣調査（フィールドサインの有無）：	確認できず	経度：E 139° 23' 56.94"

	階 層	優 占 種	高さm	植被率%	胸高直径cm	種類数
I	高木層	ウワミズザクラ	16	60	21	7
II	亜高木層	ヒサカキ	8	30	—	4
III	低木層	アオキ	3.5	60	—	15
IV	草本層	テイカカズラ	1	90	—	28
V	—	—	—	—	—	—

[illegible]

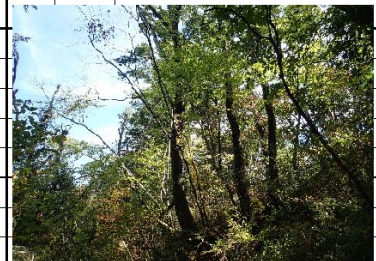
表 2-1-3 標準地植生調査 (村山山口鳥獣保護区 St.2)

群 落 組 成 調 査 票

No. 村山山口 St2	
調査地：村山山口鳥獣保護区	調査年月日：2025年11月4日
地形：斜面上部	日当：やや陽 風当：やや強
土壌：黒ボク土	土性：シルト質壤土 土湿：やや乾燥
方位：N20W	傾斜：22° 面積：10 m × 10 m
標高：160m	天候：晴れ 種類数：63
群落名：コナラ群落	緯度：N 35° 32' 41.25"
鳥獣調査（フィールドサインの有無）：確認できず	経度：E 139° 44' 08.28"

階 層	優 占 種	高さm	植被率%	胸高直径cm	種類数
I 高木層	コナラ	17	65	30	2
II 亜高木層	マルバアオダモ	10	40	-	7
III 低木層	ヒサカキ	5	60	-	35
IV 草本層	コウヤボウキ	1.5	60	-	40
V -	-	-	-	-	-

L	D・S	spp.	L	D・S	spp.	L	D・S	spp.
I	4・4	コナラ	III	+	ヤブムラサキ	IV	+	ヒイラギナンテン
	1・1	アカマツ		+	クサギ		+	ヤツデ
				+	カクレミノ		+	シラカシ
				+	シロダモ		+	モミ
				+	モッコク		+	ミツバアケビ
II	1・1	マルバアオダモ		+	テイカカズラ		+	イヌツゲ
	1・1	アオハダ		+	アオハダ		+	エゴノキ
	1・1	シラカシ		+	ネジキ		+	ゴンズイ
	1・1	リョウブ		+	ムクノキ		+	ヤブムラサキ
	1・1	エゴノキ		+	アカメガシワ		+	ムクノキ
	1・1	コナラ		+	サルトリイバラ		+	カンアオイ
	1・1	ウワミズザクラ		+	イロハモミジ		+	イヌシデ
				+	イヌザクラ		+	ノガリヤス
				+	アラカシ		+	ヤマノイモ
				+	ミヤマガマズミ		+	クスノキ
III	2・2	ヒサカキ	IV	2・2	コウヤボウキ		+	オオバギボウシ
	2・2	アズマネザサ		2・2	アズマネザサ		+	ヘクソカズラ
	1・1	エゴノキ		1・2	テイカカズラ		+	シュロ
	1・1	ウワミズザクラ		1・1	コアジサイ		+	アラカシ
	1・1	ノリウツギ		1・1	ナガバノコウヤボウキ		+	ベニシダ
	1・1	オトコヨウゾメ		1・1	コナラ			
	1・1	ツクバネウツギ		1・1	チゴユリ			
	1・1	リョウブ		1・1	アセビ			
	1・1	マルバアオダモ		1・1	ヤブコウジ			
	1・1	アセビ		+	イロハモミジ			
	1・1	ヤマウルシ		+	キツタ			
	1・1	イヌツゲ		+	ササクサ			
	+	アケビ		+	アオキ			
	+	ヤマノイモ		+	ヤマツツジ			
	+	シラカシ		+	カシワバハグマ			
	+	ウリカエデ		+	マンリョウ			
	+	コバノガマズミ		+	ナガバジャノヒゲ			
	+	ナツハゼ		+	バイカツツジ			
	+	ムラサキシキブ		+	サルトリイバラ			
	+	ネズミモチ		+	マルバアオダモ			



標準地調査地

2. 鳥獣調査

(1) 結果の概要

現地調査で確認された鳥獣（鳥類、哺乳類）の確認種数及び指定種の確認状況を表 2-2-1 に示す。

村山山口鳥獣保護区特別保護地域内で、鳥類では、猛禽類としてツミ、アオバズク、フクロウの 3 種、水鳥としてミゾゴイ、アオサギ、ダイサギの 3 種、陸鳥としてツツドリ、キジバト、コゲラ、アオゲラ、サンショウクイ、カケス、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ヤマガラ、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、エナガ、メジロ、ムクドリ、クロツグミ、マミチャジナイ、ツグミ、キビタキ、ジョウビタキ、スズメ、ビンズイ、シメ、イカル、カワラヒワ、コジュケイ、ガビチョウ、カオグロガビチョウの 28 種が確認されている。

哺乳類では、大型哺乳類としてイノシシ 1 種、中型哺乳類としてタヌキ 1 種、小型哺乳類としてアズマモグラ 1 種が確認されている。

自動撮影調査では、哺乳類は撮影されなかった。

ネズミ類の捕獲調査については、哺乳類は捕獲されなかった。

確認種の多くは樹林性の陸鳥類や猛禽類であり、サギ類等の水鳥類はやや少なく一時的に利用しているに過ぎなかった。

村山山口鳥獣保護区内で、鳥類では、猛禽類としてミサゴ、オオタカ、トビの 3 種、水鳥としてカワウとアオサギの 2 種、陸鳥としてホトトギス、キジバト、コゲラ、アカゲラ、モズ、カケス、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ヤマガラ、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、エナガ、メジロ、シロハラ、ツグミ、ジョウビタキ、コサメビタキ、スズメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、イカル、シメ、カワラヒワ、ホオジロ、カシラダカ、アオジ、ガビチョウの 28 種が確認されている。

哺乳類では、小型哺乳類としてアズマモグラ 1 種が確認されている。

自動撮影調査では、哺乳類は撮影されなかった。

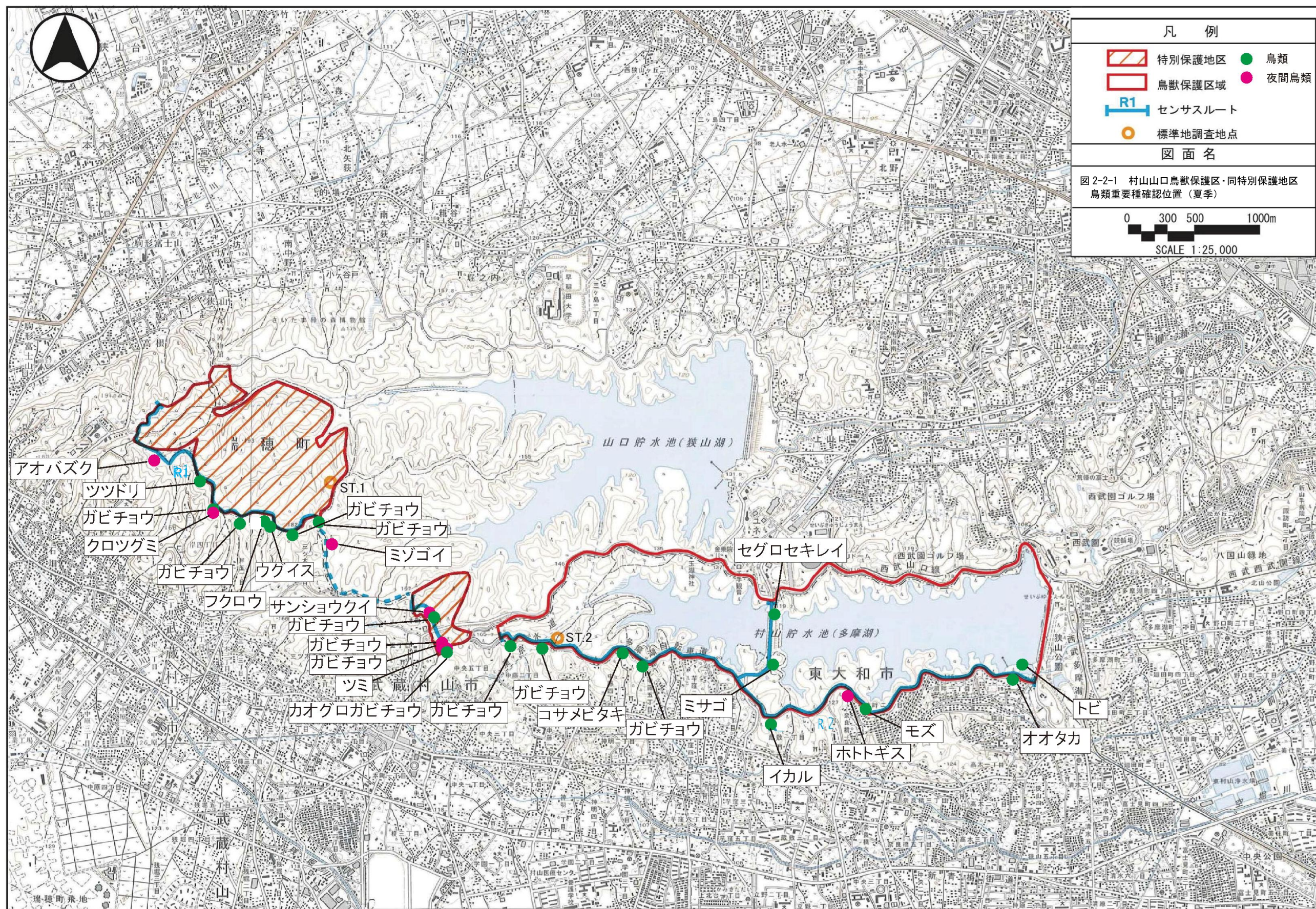
ネズミ類の捕獲調査については、哺乳類は捕獲されなかった。

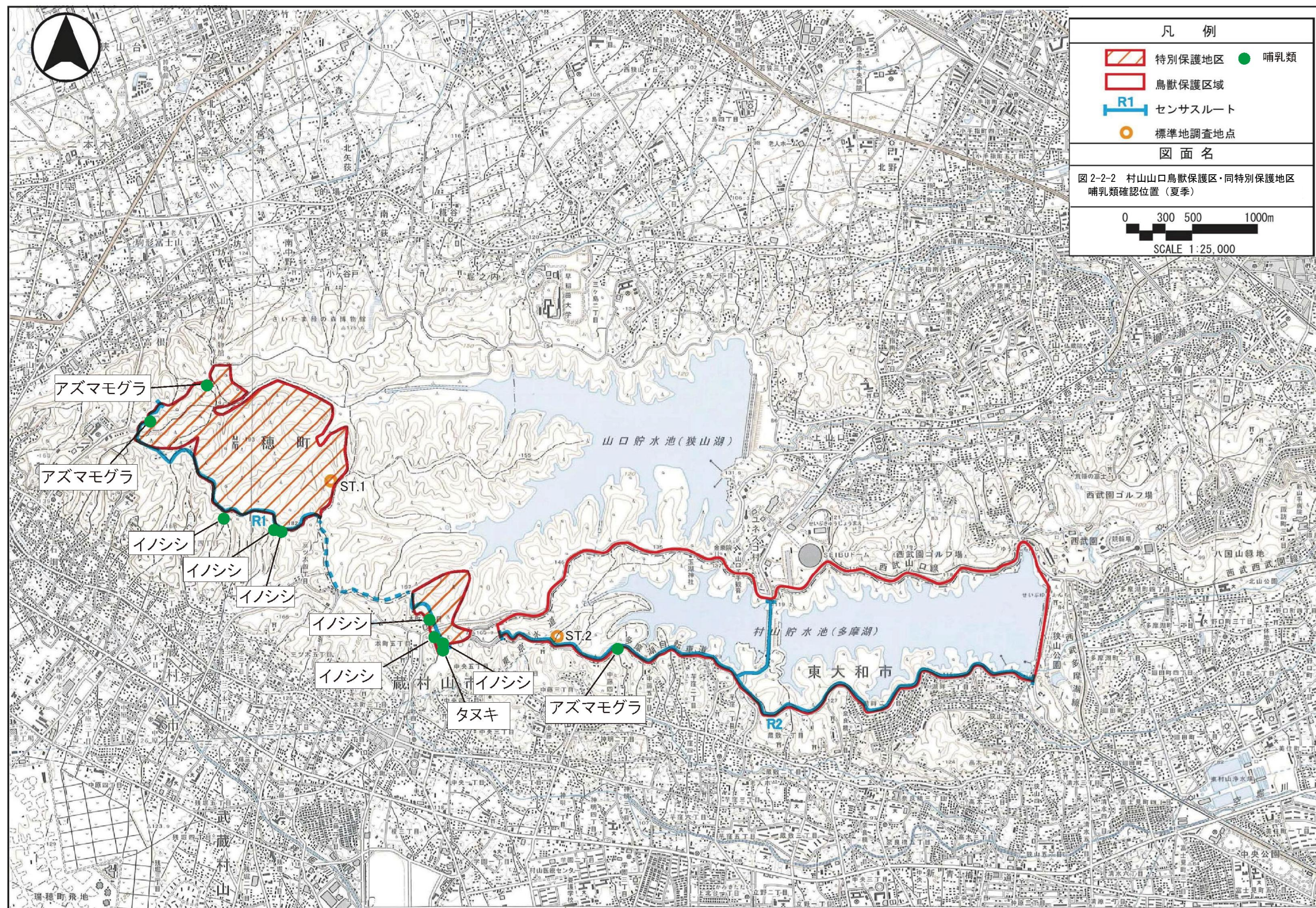
なお、特に村山山口鳥獣保護区特別保護地域内においては、人の立入りの影響が無い
ため、藪が発達し、林床にも落ち葉等のリターが厚く堆積していた。加えて、今年は降
雨も少なく、足跡等が残りやすい表土もほとんどなく、痕跡による確認は困難であつた。
したがって、今後は、無人カメラによる長期撮影を行うことで、確認制度を上げること
が可能と考えられる。

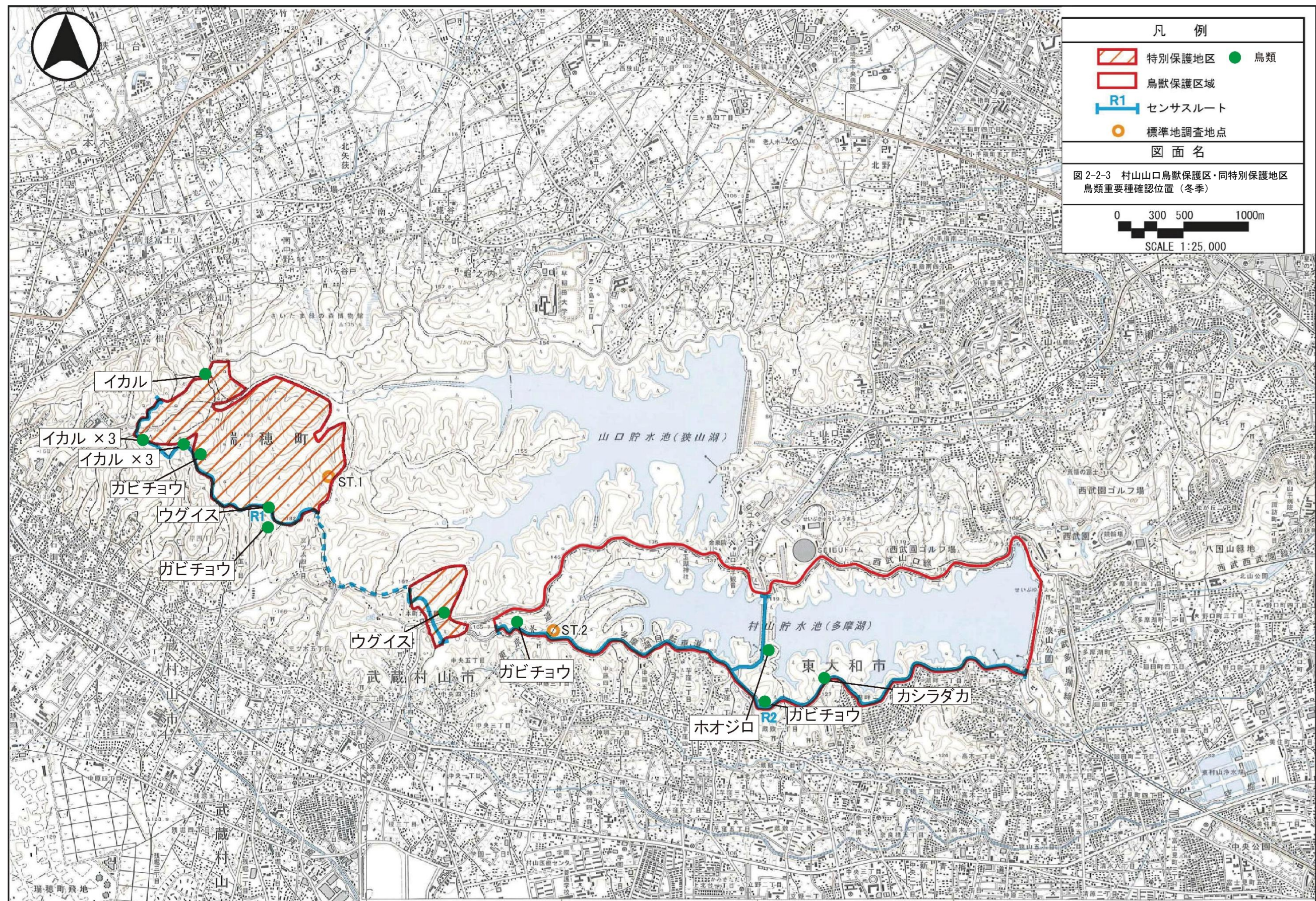
現地調査で確認された各種の内、重要な種の選定に該当する指定種については確認
位置図を図 2-2-1～図 2-2-2 に示す。

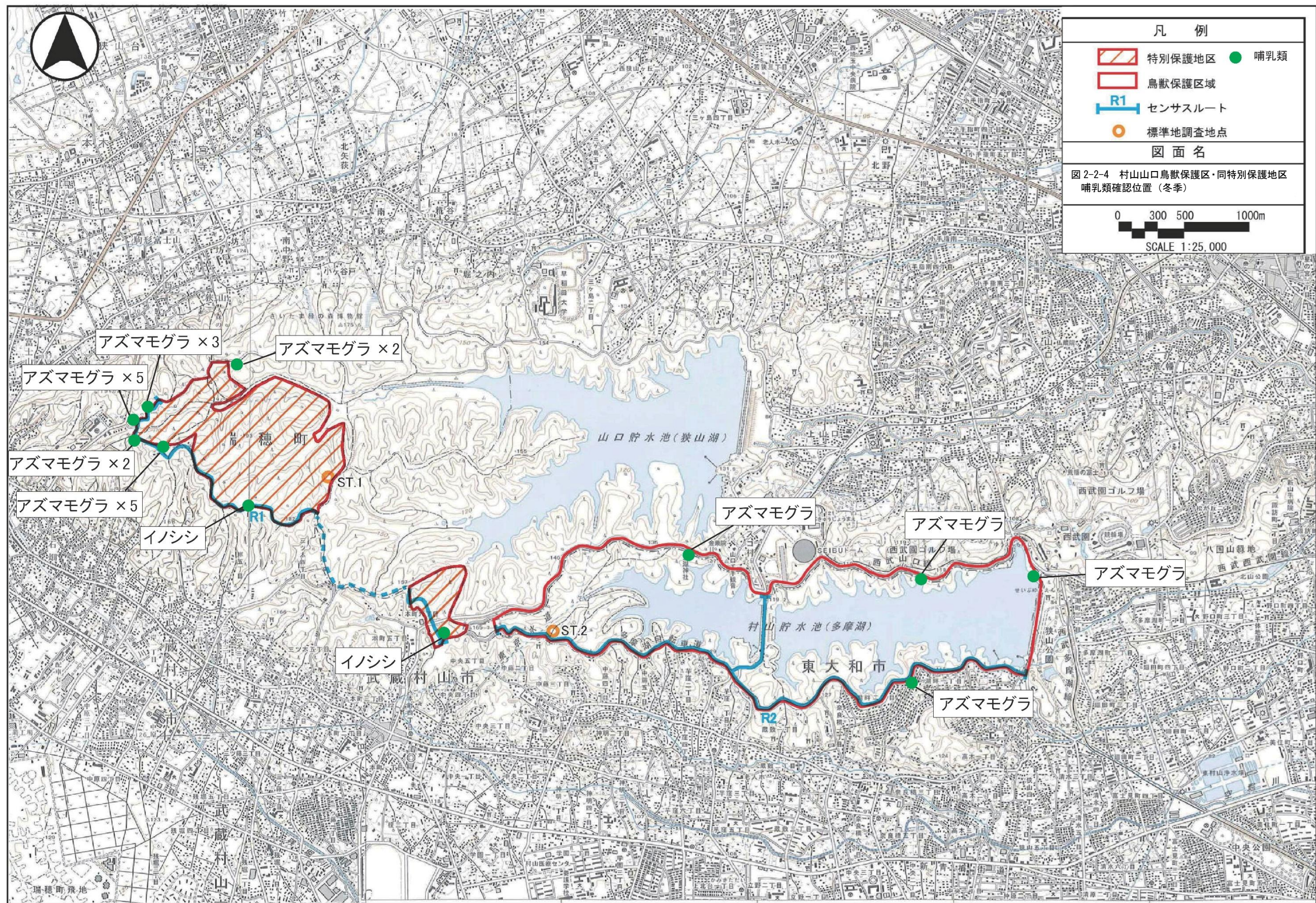
表 2-2-1 現地調査で確認された鳥獣確認種数及び指定種の確認状況
(村山山口鳥獣保護区 同特別保護地区)

調査対象 地域	ルート 名	調査名	鳥類	哺乳類	指定種の確認状況
村山山口 鳥獣保護区 特別保護地 区	R1	ライン センサス法	34 種	3 種	環境省及び東京都のレッドリストに該当する種： 鳥類：8 種、哺乳類：該当なし 特定外来生物：鳥類 2 種
		夜間調査	11 種	－	環境省及び東京都のレッドリストに該当する種： 鳥類：5 種、哺乳類：該当なし 特定外来生物：鳥類 1 種
		ネズミ類 捕獲調査	－	－	環境省及び東京都のレッドリストに該当する種： 鳥類：該当なし、哺乳類：該当なし 特定外来生物：該当なし
		自動撮影 調査	－	－	環境省及び東京都のレッドリストに該当する種： 鳥類：該当なし、哺乳類：該当なし 特定外来生物：該当なし
村山山口 鳥獣保護区	R2	ライン センサス法	33 種	1 種	環境省及び東京都のレッドリストに該当する種： 鳥類：11 種、哺乳類：該当なし 特定外来生物：鳥類 1 種
		夜間調査	1 種	－	環境省及び東京都のレッドリストに該当する種： 鳥類：1 種、哺乳類：該当なし
		ネズミ類 捕獲調査	－	－	環境省及び東京都のレッドリストに該当する種： 鳥類：該当なし、哺乳類：該当なし 特定外来生物：該当なし
		自動撮影 調査	－	－	環境省及び東京都のレッドリストに該当する種： 鳥類：該当なし、哺乳類：該当なし 特定外来生物：該当なし









現地調査において確認された種のうち、指定種等の選定については以下の表 2-2-2 に示す内容に準拠した。

表 2-2-2 現地調査で確認された指定種等の選定の参考資料

(注 1) 鳥類の配列 (No.) 及び目・科・種名については「日本鳥類目録 改訂第 8 版」(日本鳥学会、2024 年 9 月)、哺乳類の種名については「世界哺乳類標準和名リスト 2021 年度版」(川田 他、2021)に準拠した。

(注 2) 重要な種の選定基準は以下のとおりである。

I 「文化財保護法」

特天：特別天然記念物、天：天然記念物

II 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」

希少：国内希少野生動植物

III 「第 5 次レッドリスト (鳥類)」(2026 年 3 月環境省)

III 「レッドリスト 2020 (哺乳類)」(2020 年 3 月環境省)

EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR：絶滅危惧ⅠA 類、EN：絶滅危惧ⅠB 類、CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類、VU：絶滅危惧Ⅱ類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、LP：絶滅のおそれのある地域個体群

IV 「東京都レッドリスト (本土部) 2020 年見直し版」(2023 年 4 月東京都環境局)

北多摩カテゴリー

EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR：絶滅危惧ⅠA 類、EN：絶滅危惧ⅠB 類、CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類、VU：絶滅危惧Ⅱ類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、＊：留意種、○：ランク外、－：データ無し、・：非分布

V 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」

特定：特定外来生物、＊：特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律に記載はないが、国外由来の外来種

VI 「生態系被害防止外来種リスト」(2015 年 3 月環境省)

国外由来の定着予防外来種：外・定着、国外由来の総合対策外来種：外・総合、国内由来の総合対策外来種：内・総合

(2) 調査結果（目録と指定種の確認位置）

鳥類及び哺乳類のルート別の調査結果（目録）を以下に示すとおり取りまとめた。

＜ルートセンサス（夜間調査含む）村山山口鳥獣保護区 特別保護地区＞

表 2-2-3 鳥類調査結果

表 2-2-4 哺乳類調査結果

＜ルートセンサス（夜間調査含む）村山山口鳥獣保護区＞

表 2-2-5 鳥類調査結果

表 2-2-6 哺乳類調査結果

＜ネズミ類捕獲調査結果＞

表 2-2-7 村山山口鳥獣保護区 特別保護地区

表 2-2-8 村山山口鳥獣保護区

＜自動撮影調査結果＞

表 2-2-9 村山山口鳥獣保護区 特別保護地区

表 2-2-10 村山山口鳥獣保護区

表 2-2-3 (1) 鳥類調査結果 (村山山口鳥獣保護区 特別保護地区 ルートセンサス)

No. ※1	目名	科名	種名または亜種名	種の指定等の要件 ※2					令和7年度 現地調査		文献調査	ヒアリング	備考
				I	II	III	IV	V	夏	冬			
27	カモ目	カモ科	オカヨシガモ								●		
32	カモ目	カモ科	カルガモ								●		
33	カモ目	カモ科	マガモ								●		
35	カモ目	カモ科	コガモ								●		
43	カモ目	カモ科	キンクロハジロ			VU					●		
55	カモ目	カモ科	ホオジロガモ				VU				●		
56	カモ目	カモ科	ミコアイサ				CR				●		
64	キジ目	キジ科	キジ				NT				●		
65	キジ目	キジ科	ウズラ			VU	CR				●		
69	アマツバメ目	アマツバメ科	アマツバメ			VU	・				●		
79	カッコウ目	カッコウ科	ジュウイチ				・				●		
80	カッコウ目	カッコウ科	ホトギス				○				●		
82	カッコウ目	カッコウ科	ツツドリ				・		●		●		
83	カッコウ目	カッコウ科	カッコウ				VU				●		
89	ハト目	ハト科	キジバト						●		●		
101	ツル目	クイナ科	オオバン				○				●		
117	カイツブリ目	カイツブリ科	カイツブリ				VU				●		
119	カイツブリ目	カイツブリ科	カンムリカイツブリ				*				●	○	
121	カイツブリ目	カイツブリ科	ハジロカイツブリ				*				●		
315	カツオドリ目	ウ科	カワウ								●		
326	ペリカン目	サギ科	ミゾゴイ			NT	CR		●				夜間のみ
328	ペリカン目	サギ科	ゴイサギ			VU	VU				●		
333	ペリカン目	サギ科	アオサギ						●		●		夜間のみ
335	ペリカン目	サギ科	ダイサギ				○		●				夜間のみ
336	ペリカン目	サギ科	チュウサギ			NT	NT				●		
337	ペリカン目	サギ科	コサギ			VU	NT				●		
343	タカ目	ミサゴ科	ミサゴ				VU				●	○	
352	タカ目	タカ科	ツミ				VU		●			○	夜間のみ
353	タカ目	タカ科	ハイタカ			NT	VU				●		
354	タカ目	タカ科	オオタカ			NT	VU				●	○	
359	タカ目	タカ科	トビ				○				●		
363	タカ目	タカ科	サシバ			VU	CR				●		
366	タカ目	タカ科	ノスリ				VU				●		
367	フクロウ目	フクロウ科	アオバズク				EN		●		●		夜間含む
371	フクロウ目	フクロウ科	オオコノハズク				DD				●		
377	フクロウ目	フクロウ科	フクロウ				VU		●		●		
384	ブッポウソウ目	カワセミ科	カワセミ				NT				●		
390	キツツキ目	キツツキ科	コゲラ						●	●	●		
394	キツツキ目	キツツキ科	アカゲラ				○				●		
399	キツツキ目	キツツキ科	アオゲラ				○		●	●	●		
402	ハヤブサ目	ハヤブサ科	チョウゲンボウ				VU				●		
407	ハヤブサ目	ハヤブサ科	ハヤブサ		内	NT	VU				●		
411	スズメ目	サンショウクイ科	サンショウクイ				CR		●				夜間のみ
419	スズメ目	カササギヒタキ科	サンコウチョウ				VU				●		
422	スズメ目	モズ科	チゴモズ			EN	CR				●		
424	スズメ目	モズ科	アカモズ		内	CR	CR				●		
425	スズメ目	モズ科	モズ				VU				●		
427	スズメ目	カラス科	カケス						●		●		
429	スズメ目	カラス科	オナガ			NT	NT				●		
435	スズメ目	カラス科	ハシボソガラス							●	●		
436	スズメ目	カラス科	ハシブトガラス						●	●	●		
440	スズメ目	シジュウカラ科	ヒガラ								●		
442	スズメ目	シジュウカラ科	ヤマガラ				○		●	●	●		
445	スズメ目	シジュウカラ科	コガラ								●		
447	スズメ目	シジュウカラ科	シジュウカラ						●	●	●		
450	スズメ目	ヒバリ科	ヒバリ				VU				●		
456	スズメ目	ヒヨドリ科	ヒヨドリ						●	●	●		夜間含む
461	スズメ目	ツバメ科	ツバメ								●		
462	スズメ目	ツバメ科	イワツバメ				NT				●		
464	スズメ目	ウグイス科	ウグイス				○		●	●	●	○	
466	スズメ目	ウグイス科	ヤブサメ				VU				●		
467	スズメ目	エナガ科	エナガ						●	●	●		
481	スズメ目	ムシクイ科	メボソムシクイ				・				●		

表 2-2-3 (2) 鳥類調査結果 (村山山口鳥獣保護区 特別保護地区 ルートセンサス)

No. ※1	目名	科名	種名または亜種名	種の指定等の要件 ※2					令和7年度 現地調査		文献調査	ヒアリング	備考
				I	II	III	IV	V	夏	冬			
484	スズメ目	ヨシキリ科	オオヨシキリ				VU				●		
497	スズメ目	セッカ科	セッカ				VU				●		
501	スズメ目	メジロ科	メジロ						●	●	●		
502	スズメ目	キクイタダキ科	キクイタダキ				○				●		
503	スズメ目	ミソサザイ科	ミソサザイ				NT				●		
505	スズメ目	キバシリ科	キバシリ				・				●		
507	スズメ目	ムクドリ科	ムクドリ						●	●	●		
509	スズメ目	ムクドリ科	コムクドリ								●		
514	スズメ目	ツグミ科	トラツグミ				VU				●		
523	スズメ目	ツグミ科	クロツグミ				NT		●		●		夜間のみ
525	スズメ目	ツグミ科	マミチャジナイ						●				
526	スズメ目	ツグミ科	シロハラ								●		
527	スズメ目	ツグミ科	アカハラ								●		
531	スズメ目	ツグミ科	ツグミ							●			
539	スズメ目	ヒタキ科	オオルリ				NT				●		
550	スズメ目	ヒタキ科	キビタキ						●		●	○	夜間含む
556	スズメ目	ヒタキ科	ルリヒタキ								●		
561	スズメ目	ヒタキ科	ジョウビタキ							●	●		
575	スズメ目	スズメ科	スズメ						●		●		夜間含む
584	スズメ目	セキレイ科	キセキレイ								●		
585	スズメ目	セキレイ科	ハクセキレイ								●		
586	スズメ目	セキレイ科	セグロセキレイ				NT				●		
591	スズメ目	セキレイ科	ビンズイ			NT				●	●		
595	スズメ目	セキレイ科	タヒバリ								●		
598	スズメ目	アトリ科	シメ							●	●		
600	スズメ目	アトリ科	イカル				NT			●	●		
602	スズメ目	アトリ科	ウソ				NT				●		
606	スズメ目	アトリ科	ペニマシコ				NT				●		
608	スズメ目	アトリ科	カワラヒワ							●	●		
618	スズメ目	ホオジロ科	ホオジロ				NT				●		
622	スズメ目	ホオジロ科	ホオアカ								●		
625	スズメ目	ホオジロ科	カシラダカ			EN	VU				●		
633	スズメ目	ホオジロ科	アオジ								●		
634	スズメ目	ホオジロ科	クロジ				NT				●		
637	スズメ目	ホオジロ科	オオジュリン				NT				●		
9	キジ目	キジ科	コジュケイ					*	●	●	●		
11	ハト目	ハト科	カワラハト(ドバト)					*			●		
25	スズメ目	ソウシチョウ科	ソウシチョウ					特定			●		
26	スズメ目	ソウシチョウ科	ガビチョウ					特定	●	●	●	○	夜間含む
29	スズメ目	ソウシチョウ科	カオグロガビチョウ					特定	●				
計	15目	40科	103種	0種	2種	16種	61種	5種	27種	19種	96種	7種	11種

※1 「No.」及び目・科・種名は、「日本鳥類目録(改定第8版)」(2024年9月日本鳥学会)による。

※2 種の指定等の要件

I 「文化財保護法」

特天：特別天然記念物、天：天然記念物

II 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」

希少：国内希少野生動植物

III 「第5次レッドリスト(鳥類)」(2026年3月環境省)

EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR：絶滅危惧ⅠA類、EN：絶滅危惧ⅠB類、CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類、

VU：絶滅危惧Ⅱ類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、LP：絶滅のおそれのある地域個体群

IV 「東京都レッドリスト(本土部)2020年見直し版」(2023年4月東京都環境局)北多摩カテゴリー

EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR：絶滅危惧ⅠA類、EN：絶滅危惧ⅠB類、CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類、

VU：絶滅危惧Ⅱ類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、*：留意種、○：ランク外、-：データ無し、

・：非分布

V 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」

特定：特定外来生物、*：特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律に記載はな

いが、国外由来の外来種

(参考文献)

*1 平成17年度 村山山口鳥獣保護区等鳥獣生息状況調査委託報告書(平成18年3月)

*2 鳥獣保護区における鳥獣生息状況調査委託報告書(平成29年3月)

表 2-2-4 哺乳類調査結果（村山山口鳥獣保護区 特別保護地区 ルートセンサス）

No. ※1	目名	科名	種名または亜種名	種の指定等の要件 ※2						令和7年度 現地調査		文献調査
				I	II	III	IV	V	VI	夏	冬	
1	トガリネズミ形目	モグラ科	アズマモグラ				○				●	●
2	翼手目	ヒナコウモリ科	アブラコウモリ									●
3	齧歯目	ネズミ科	カヤネズミ				EN					●
4	齧歯目	ネズミ科	アカネズミ				○					●
5	齧歯目	ネズミ科	ドブネズミ						外・総合			●
6	齧歯目	ネズミ科	クマネズミ						外・総合			●
7	齧歯目	ネズミ科	ハツカネズミ						外・総合			●
8	齧歯目	リス科	キタリス					特定				●
9	齧歯目	リス科	ムササビ				DD					●
10	兔形目	ウサギ科	ニホンノウサギ				VU					●
11	食肉目	イヌ科	アカギツネ				EN					●
12	食肉目	イヌ科	タヌキ							●		●
13	食肉目	アライグマ科	アライグマ					特定				●
14	食肉目	イタチ科	ニホンイタチ				NT					●
15	食肉目	イタチ科	アナグマ				NT					●
16	食肉目	ジャコウネコ科	ハクビシン						外・総合			●
17	偶蹄目	イノシシ科	イノシシ				○			●	●	●
計	6目	10科	17種	0種	0種	0種	9種	2種	4種	2種	2種	17種

※1 「No.」は通し番号 「種名」は「世界哺乳類標準和名リスト 2021 年度版」（日本哺乳類学会）による。

※2 種の指定等の要件

I 「文化財保護法」

特天：特別天然記念物、天：天然記念物

II 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」

希少：国内希少野生動植物

III 「レッドリスト 2020（哺乳類）」（2020年3月環境省）

EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR：絶滅危惧ⅠA類、EN：絶滅危惧ⅠB類、CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類、

VU：絶滅危惧Ⅱ類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、LP：絶滅のおそれのある地域個体群

IV 「東京都レッドリスト（本土部）2020 年見直し版」（2023年4月東京都環境局）北多摩カテゴリー

EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR：絶滅危惧ⅠA類、EN：絶滅危惧ⅠB類、CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類、

VU：絶滅危惧Ⅱ類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、＊：留意種、○：ランク外、－：データ無し、

・：非分布

V 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」

特定：特定外来生物

VI 「生態系被害防止外来種リスト」（2015年3月環境省）

国外由来の定着予防外来種：外・定着、国外由来の総合対策外来種：外・総合、国内由来の総合対

策外来種：内・総合

（参考文献）

*1 平成 17 年度 村山山口鳥獣保護区等鳥獣生息状況調査委託報告書（平成 18 年 3 月）

*2 鳥獣保護区における鳥獣生息状況調査委託報告書（平成 29 年 3 月）

*3 重昆達也（2011）狭山丘陵の哺乳類．トトロのふるさと財団 自然環境調査報告書 8：20-72.

*4 渡邊英之・澤田集一郎（2025）東村山市の中大型哺乳類相．トトロのふるさと財団 自然環境調査報告書 19：36-48.

表 2-2-7 哺乳類調査結果
(村山山口鳥獣保護区 特別保護地区 ネズミ類捕獲調査結果)

No.	目名	科名	種名または亜種名	学名	重要な種の選定基準					現地調査		備考
					1	2	3	4	5	夏季	冬季	
										捕獲無し	—	
計	0目	0科	0種		0種	0種	0種	0種	0種	0種	0種	

表 2-2-9 哺乳類調査結果
(村山山口鳥獣保護区 特別保護地区 自動撮影調査結果)

No.	目名	科名	種名または亜種名	学名	重要な種の選定基準					現地調査		備考
					1	2	3	4	5	夏季	冬季	
										撮影無し	—	
計	0目	0科	0種		0種	0種	0種	0種	0種	0種	0種	

第3章 文献調査の結果

鳥類及び哺乳類の鳥獣保護区(同特別保護地区)別の調査結果(目録)を以下に示す。

＜特別保護地区＞

表 5-1	村山山口鳥獣保護区	特別保護地区（鳥類）
表 5-2	村山山口鳥獣保護区	特別保護地区（哺乳類）

表 5-1 (1) 村山山口鳥獣保護区 特別保護地区 (鳥類) (1)

No. ※1	目名	科名	種名または亜種名	種の指定等の要件 ※2					文献調査
				I	II	III	IV	V	
27	カモ目	カモ科	オカヨシガモ						●
32	カモ目	カモ科	カルガモ						●
33	カモ目	カモ科	マガモ						●
35	カモ目	カモ科	コガモ						●
43	カモ目	カモ科	キンクロハジロ			VU			●
55	カモ目	カモ科	ホオジロガモ				VU		●
56	カモ目	カモ科	ミコアイサ				CR		●
64	キジ目	キジ科	キジ				NT		●
65	キジ目	キジ科	ウズラ			VU	CR		●
69	アマツバメ目	アマツバメ科	アマツバメ			VU	・		●
79	カッコー目	カッコー科	ジュウイチ				・		●
80	カッコー目	カッコー科	ホトトギス				○		●
82	カッコー目	カッコー科	ツツドリ				・		●
83	カッコー目	カッコー科	カッコー				VU		●
89	ハト目	ハト科	キジバト						●
101	ツル目	クイナ科	オオバン				○		●
117	カイツブリ目	カイツブリ科	カイツブリ				VU		●
119	カイツブリ目	カイツブリ科	カンムリカイツブリ				*		●
121	カイツブリ目	カイツブリ科	ハジロカイツブリ				*		●
315	カツオドリ目	ウ科	カワウ						●
328	ペリカン目	サギ科	ゴイサギ			VU	VU		●
333	ペリカン目	サギ科	アオサギ						●
336	ペリカン目	サギ科	チュウサギ			NT	NT		●
337	ペリカン目	サギ科	コサギ			VU	NT		●
343	タカ目	ミサゴ科	ミサゴ				VU		●
353	タカ目	タカ科	ハイタカ			NT	VU		●
354	タカ目	タカ科	オオタカ			NT	VU		●
359	タカ目	タカ科	トビ				○		●
363	タカ目	タカ科	サンバ			VU	CR		●
366	タカ目	タカ科	ノスリ				VU		●
367	フクロウ目	フクロウ科	アオバズク				EN		●
371	フクロウ目	フクロウ科	オオコノハズク				DD		●
377	フクロウ目	フクロウ科	フクロウ				VU		●
384	ブッポウソウ目	カワセミ科	カワセミ				NT		●
390	キツツキ目	キツツキ科	コゲラ						●
394	キツツキ目	キツツキ科	アカゲラ				○		●
399	キツツキ目	キツツキ科	アオゲラ				○		●
402	ハヤブサ目	ハヤブサ科	チョウゲンボウ				VU		●
407	ハヤブサ目	ハヤブサ科	ハヤブサ		内	NT	VU		●
419	スズメ目	カササギヒタキ科	サンコウチョウ				VU		●
422	スズメ目	モズ科	チゴモズ			EN	CR		●
424	スズメ目	モズ科	アカモズ		内	CR	CR		●
425	スズメ目	モズ科	モズ				VU		●
427	スズメ目	カラス科	カケス						●
429	スズメ目	カラス科	オナガ			NT	NT		●
435	スズメ目	カラス科	ハシボソガラス						●
436	スズメ目	カラス科	ハシブトガラス						●
440	スズメ目	シジュウカラ科	ヒガラ						●
442	スズメ目	シジュウカラ科	ヤマガラ				○		●
445	スズメ目	シジュウカラ科	コガラ						●
447	スズメ目	シジュウカラ科	シジュウカラ						●
450	スズメ目	ヒバリ科	ヒバリ				VU		●
456	スズメ目	ヒヨドリ科	ヒヨドリ						●
461	スズメ目	ツバメ科	ツバメ						●
462	スズメ目	ツバメ科	イワツバメ				NT		●
464	スズメ目	ウグイス科	ウグイス				○		●
466	スズメ目	ウグイス科	ヤブサメ				VU		●
467	スズメ目	エナガ科	エナガ						●
481	スズメ目	ムシクイ科	メボソムシクイ				・		●

表 5-1 (2) 村山山口鳥獣保護区 特別保護地区 (鳥類) (2)

No. ※1	目名	科名	種名または亜種名	種の指定等の要件 ※2					文献調査
				I	II	III	IV	V	
484	スズメ目	ヨシキリ科	オオヨシキリ				VU		●
497	スズメ目	セッカ科	セッカ				VU		●
501	スズメ目	メジロ科	メジロ						●
502	スズメ目	キクイタダキ科	キクイタダキ				○		●
503	スズメ目	ミソサザイ科	ミソサザイ				NT		●
505	スズメ目	キバシリ科	キバシリ				・		●
507	スズメ目	ムクドリ科	ムクドリ						●
509	スズメ目	ムクドリ科	コムクドリ						●
514	スズメ目	ツグミ科	トラツグミ				VU		●
523	スズメ目	ツグミ科	クロツグミ				NT		●
526	スズメ目	ツグミ科	シロハラ						●
527	スズメ目	ツグミ科	アカハラ						●
539	スズメ目	ヒタキ科	オオルリ				NT		●
550	スズメ目	ヒタキ科	キビタキ						●
556	スズメ目	ヒタキ科	ルビタキ						●
561	スズメ目	ヒタキ科	ジョウビタキ						●
575	スズメ目	スズメ科	スズメ						●
584	スズメ目	セキレイ科	キセキレイ						●
585	スズメ目	セキレイ科	ハクセキレイ						●
586	スズメ目	セキレイ科	セグロセキレイ				NT		●
591	スズメ目	セキレイ科	ビンズイ			NT			●
595	スズメ目	セキレイ科	タヒバリ						●
598	スズメ目	アトリ科	シメ						●
600	スズメ目	アトリ科	イカル				NT		●
602	スズメ目	アトリ科	ウソ				NT		●
606	スズメ目	アトリ科	ベニマシコ				NT		●
608	スズメ目	アトリ科	カワラヒワ						●
618	スズメ目	ホオジロ科	ホオジロ				NT		●
622	スズメ目	ホオジロ科	ホオアカ						●
625	スズメ目	ホオジロ科	カシラダカ			EN	VU		●
633	スズメ目	ホオジロ科	アオジ						●
634	スズメ目	ホオジロ科	クロジ				NT		●
637	スズメ目	ホオジロ科	オオジュリン				NT		●
9	キジ目	キジ科	コジュケイ					*	●
11	ハト目	ハト科	カワラバト(ドバト)					*	●
25	スズメ目	ソウシチョウ科	ソウシチョウ					特定	●
26	スズメ目	ソウシチョウ科	ガビチョウ					特定	●

※1 「No.」及び目・科・種名は、「日本鳥類目録(改定第8版)」(2024年9月日本鳥学会)による。

※2 種の指定等の要件

I 「文化財保護法」

特天：特別天然記念物、天：天然記念物

II 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」

希少：国内希少野生動植物

III 「第5次レッドリスト(鳥類)」(2026年3月環境省)

EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR：絶滅危惧ⅠA類、EN：絶滅危惧ⅠB類、CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類、
VU：絶滅危惧Ⅱ類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、LP：絶滅のおそれのある地域個体群

IV 「東京都レッドリスト(本土部)2020年見直し版」(2023年4月東京都環境局)北多摩カテゴリー

EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR：絶滅危惧ⅠA類、EN：絶滅危惧ⅠB類、CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類、
VU：絶滅危惧Ⅱ類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、*：留意種、○：ランク外、-：データ無し、
・：非分布

V 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」

特定：特定外来生物、*：特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律に記載はないが、国外由来の外来種

(参考文献)

*1 平成17年度 村山山口鳥獣保護区等鳥獣生息状況調査委託報告書(平成18年3月)

*2 鳥獣保護区における鳥獣生息状況調査委託報告書(平成29年3月)

表 5-2 村山山口鳥獣保護区 特別保護地区（哺乳類）

No. ※1	目名	科名	種名または亜種名	種の指定等の要件 ※2						文献調査
				I	II	III	IV	V	VI	
1	トガリネズミ形目	モグラ科	アズマモグラ				○			●
2	翼手目	ヒナコウモリ科	アブラコウモリ							●
3	齧歯目	ネズミ科	カヤネズミ				EN			●
4	齧歯目	ネズミ科	アカネズミ				○			●
5	齧歯目	ネズミ科	ドブネズミ						外・総合	●
6	齧歯目	ネズミ科	クマネズミ						外・総合	●
7	齧歯目	ネズミ科	ハツカネズミ						外・総合	●
8	齧歯目	リス科	キタリス					特定		●
9	齧歯目	リス科	ムササビ				DD			●
10	兎形目	ウサギ科	ニホンノウサギ				VU			●
11	食肉目	イヌ科	アカギツネ				EN			●
12	食肉目	イヌ科	タヌキ							●
13	食肉目	アライグマ科	アライグマ					特定		●
14	食肉目	イタチ科	ニホンイタチ				NT			●
15	食肉目	イタチ科	アナグマ				NT			●
16	食肉目	ジャコウネコ科	ハクビシン						外・総合	●
17	偶蹄目	イノシシ科	イノシシ				○			●

※1 「No.」は通し番号 「種名」は「世界哺乳類標準和名リスト 2021 年度版」（日本哺乳類学会）による。

※2 種の指定等の要件

I 「文化財保護法」

特天：特別天然記念物、天：天然記念物

II 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」

希少：国内希少野生動植物

III 「レッドリスト 2020（哺乳類）」（2020年3月環境省）

EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR：絶滅危惧ⅠA類、EN：絶滅危惧ⅠB類、CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類、

VU：絶滅危惧Ⅱ類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、LP：絶滅のおそれのある地域個体群

IV 「東京都レッドリスト（本土部）2020 年見直し版」（2023年4月東京都環境局）北多摩カテゴリー

EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR：絶滅危惧ⅠA類、EN：絶滅危惧ⅠB類、CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類、

VU：絶滅危惧Ⅱ類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、＊：留意種、○：ランク外、－：データ無し、

・：非分布

V 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」

特定：特定外来生物

VI 「生態系被害防止外来種リスト」（2015年3月環境省）

国外由来の定着予防外来種：外・定着、国外由来の総合対策外来種：外・総合、国内由来の総合対

策外来種：内・総合

（参考文献）

*1 平成 17 年度 村山山口鳥獣保護区等鳥獣生息状況調査委託報告書（平成 18 年 3 月）

*2 鳥獣保護区における鳥獣生息状況調査委託報告書（平成 29 年 3 月）

*3 重昆達也（2011）狭山丘陵の哺乳類. トトロのふるさと財団 自然環境調査報告書 8: 20-72.

*4 渡邊英之・澤田集一郎（2025）東村山市の中大型哺乳類相. トトロのふるさと財団 自然環境調査報告書 19: 36-48.